

「しりあがりさんとタイムトラブル 江戸×東京」

日比谷文化図書館（日比谷公園） 24.04.26～06.23



特別展として開催される本展は、「しりあがり寿」(1958～)がパッケージデザインや広告宣伝などを担当する傍ら、マンガ家としてデビューして、「白土三平」の作品のパロディやサラリーマン生活を描いたギャグマンガ、新聞連載の社会派4コママンガ、不条理マンガなど様々なジャンルの作品を制作している。

2018年・2021年には、江戸時代の浮世絵の巨匠である「葛飾北斎」筆《富嶽三十六啓景》(1930～32年頃)をパロディにした《ちょっと可愛しなほぼ三十六景》や《しりあがり流に解釈した北斎ワールド》の作品を描いて注目を集めた。

今回は、これまでに発表をした「北斎」のパロディ作品や、当館所蔵の「歌川広重」筆《名所江戸百景》(1856年)などを基に千代田区の風景を描いた新作に加え、浮世絵に置いて最大のライバルとされた「北斎」と「広重」が描いた《江戸時代の風景》に、「しりあがり寿」が描き込んだ“現代の人物や人々のタイムトラブル(時間旅行)を見て、クスツと笑いながら楽しめる特別展”としての開催である。



最新料金所



台風中継



ドローン



太平洋クラブ御殿場コース